

常任委員会の審査

6月定例会において4つの常任委員会が開かれ、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長から、28日の本会議で報告されました。

総務 常任委員会

元年度一般会計補正予算、盛岡市男女共同参画推進条例など議案7件について審査し、いずれも可決すべきものと決まりました。また、Jリーグスタジアム基準を満たすスタジアムを盛岡南公園球技場に整備することを求める請願など請願3件は、いずれも採択すべきものと決まりました。

【議案第66号】

盛岡市男女共同参画推進条例について

問 条例に市の責務として、男女共同参画の推進に関する施策の策定と実施を掲げているが、施策内容や策定期限についての考えは。

答 各事業の推進のため、元年度中に男女共同参画推進計画を抜本的に見直す予定である。骨子作成時にはさまざまな団体から意見を聞き、女性の地位向上に向けた取り組みや性的少数者への配慮など、具体的な施策につながるものを盛り込みたいと考えている。

教育福祉 常任委員会

元年度一般会計補正予算など議案12件について審査し、就学援助引き上げの内容などについて質疑がありました。いずれも可決すべきものと決まりました。また、こどものおたふく風邪ワクチン・インフルエンザワクチン費用助成に関する請願は、採択すべきものと決まりました。

【議案第57号】

令和元年度盛岡市一般会計補正予算（第1号）

問 生活困窮や、特別支援学級などに通学する児童生徒、就学困難な東日本大震災の被災児童生徒などの保護者に対し、新入学時の学用品購入への補助額が引き上げられる。対象児童生徒数と内容は。

答 平成31年度の対象者数は合計で小学生237人、中学生310人である。平成31年4月分までさかのぼって一人当たり5千円から1万円を増額し、元年7月に一括で支給する。

産業環境 常任委員会

元年度一般会計補正予算など議案4件について審査しました。審査の過程で、雇用対策推進事業における移住者への支援金給付の詳細や、道明地区新産業等用地第一事業区への企業立地の見通しなどについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第57号】

令和元年度盛岡市一般会計補正予算（第1号）

問 東京23区在住者などが本市に移住し、中小企業に就業した場合などに給付する支援金制度について、積極的な周知に努めるべきだと考えるが、所見は。また、対象となる中小企業の拡大に向けた取り組み内容は。

答 首都圏におけるU・Iターンフェアで周知するほか、ホームページに支援金の情報を掲載する。部内で連携し、直接訪問などにより、対象中小企業の拡大に努める。

建設 常任委員会

元年度水道事業会計補正予算、盛岡市市営住宅条例の一部改正など議案9件について審査しました。審査の過程で、自転車通行帯を設ける基準となる交通量や、原子力損害賠償の申立額に対する和解額の割合などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第63号】

盛岡市道路の構造の一般的技術的基準を定める条例の一部を改正する条例について

問 国の道路構造令改正を受けた条例改正だが、改正内容の詳細は。また、自転車通行帯の設置要件にある交通量が多いと判断する具体的な基準は。

答 新たに自転車通行帯について定めたほか、自転車道を設けるべき道路の要件に設計速度を加えた。自動車は一日当たり4千台以上、自転車は午前7時から9時までの間で1時間当たり100台以上の場合、交通量が多いと判断する。

タブレット端末の導入について調査結果を報告

市議会では、議員6人によるタブレット端末導入準備専門部会を設置し、課題の調査研究や、導入スケジュールなどを協議してきました。部会の調査結果は報告書としてまとめ、6月3日の議会運営委員会において議会運営委員長へ提出されました。

◎目的

- ・情報通信技術に順応し、先端技術の積極的な活用により議会活動の能率性と利便性を向上させ、議員の調査能力・政策立案能力・発信力を強化する。
- ・会議資料のペーパーレス化により、市全体の経費を削減させ、環境負荷軽減と資料作成の省力化を図る。
- ・タブレット端末を活用した市民への積極的な情報提供を進める。

◎スケジュール

- ・3つのフェーズ（段階）に区切り、段階的な導入を図る。
- ・第1フェーズ（2～4年度）は試行的導入とし、効果を検証する。
- ・第2フェーズ以降は、検証結果や情報通信技術の向上を見据え、最適なスケジュールを策定する。

◎費用

- ・導入初年度の経費は約222万円と試算し、必要経費の財源は、他都市への行政視察の回数見直しにより捻出する。
- ・議員へ配布している市例規集の廃止により約18万円、資料のペーパーレス化により用紙・印刷代など約30万円、合計で年間約48万円の削減効果を見込む。

特別委員会の調査報告

平成29年9月に設置された4つの特別委員会は、28日の本会議で調査結果を報告しました。調査報告書の全文は、市議会ホームページに掲載しています。

まちの活性化対策特別委員会

調査項目

- ①シティプロモーションの推進
- ②跡地利用によるにぎわいの創造

調査実績

- ・埼玉県三芳町：町のファンを増やす広報紙づくり
- ・仙台市勾当台公園：ライブラリーパークでのにぎわいづくり
- ・埼玉県戸田市：効果的なプロモーションのためシンクタンク部署設置
- ・鳥取県鳥取市：専門職を民間起用したシティプロモーション施策
- ・広告代理店と市地域おこし協力隊員との意見交換 など計8回実施

提言

- ・データ収集と分析でターゲットを明確化したシティプロモーション
- ・広報プロモーション統括部署の設置
- ・外部人材登用によるスペシャリストの育成
- ・まちづくりに積極的な意識を生みだすシビックプライドの醸成
- ・跡地資源を有効活用してまちを活性化する仕組みづくり



鳥取市のプロモーションロゴ

生活支援対策特別委員会

調査項目

- ①生活困窮者への支援
- ②子ども・ひとり親家庭への支援
- ③地域共生社会の実現

調査実績

- ・市の子ども・ひとり親家庭への支援の現状と課題
- ・子ども食堂やもりおか若者サポートステーションの取り組み
- ・三重県伊賀市：「いがぐりプロジェクト」による就労支援
- ・静岡県富士市：ユニバーサル就労事業と就労支援センターの取り組み
- ・北海道釧路市：生活困窮者支援に係る取り組み
- ・北海道当別町：地域共生社会の実現に向けた取り組み など計10回実施。

提言

- ・生活困窮者やひきこもり者の現状把握と関係機関との課題の共有
- ・ユニバーサルな視点を持った就労支援、多様な中間的就労の場の創出
- ・子ども食堂への財政支援と子ども応援プロジェクトの長期継続による、子どもの社会的孤立防止、豊かな人間関係の構築支援
- ・学習支援の対象者及び実施回数の増による貧困の連鎖の防止
- ・スクールソーシャルワーカーを増員し、学校をプラットフォームとする貧困対策の実施
- ・豊富な社会資源を活用し盛岡らしい共生社会実現に向けた事業の実施



釧路市の中間的就労の取り組み（整網作業）

教育環境対策特別委員会

調査項目

- ①教育施設の整備
- ②教育環境の整備
- ③学校給食

調査実績

- ・市立中学校で実施されている給食自由選択方式の調査
- ・岐阜市：小中学校英語教育の充実と小中学生の学力向上
- ・三重県松阪市：教育現場におけるICT活用と情報教育
- ・浜松市：公立図書館の図書資料貸し出しなどによる学校図書館支援
- ・広島県福山市：福山市中学校完全給食実施方針の策定と実施状況
- ・相模原市：教育の情報化 など計9回実施。

提言

- ・小中学校教育の情報化に関する計画策定と教育情報化推進体制の構築
- ・公立図書館と学校図書館の連携による主体的・対話的な学びの推進
- ・プログラミング教育を実施できる教育環境の整備
- ・民間教育研究機関と連携しエビデンス（裏付け）に基づく指導の実施
- ・外国語活動の小学校低学年からの実施
- ・教員の情報機器活用能力向上と併せた授業力・指導力の向上
- ・労働環境管理の徹底や学校運営体制の見直しなど教員の働き方改革
- ・親子方式を加えた給食提供方法の検討による中学校完全給食の早期実現



相模原市のプログラミング教育

交通対策特別委員会

調査項目

- ①少子高齢化に対応した交通の在り方
- ②地域活性化に向けた公共交通の在り方

調査実績

- ・地域公共交通網形成計画策定に向けた市の取り組み状況
- ・（仮称）新盛岡バスセンターのバスターミナル機能整備
- ・（公社）岩手県バス協会との意見交換
- ・名古屋市：市主導で実施した栄バスターミナルの整備
- ・岐阜市：地域主体のコミュニティバスの運行
- ・石川県金沢市：金沢交通戦略 など計10回実施。

提言

- ・コミュニティバスの運行に向けた庁内横断的な視点での議論
- ・「ななっく」の再開発と連携したバスセンターの再整備
- ・まちなか・おでかけバス事業の適切な制度設計の再考
- ・車両へのICカード搭載やバスロケーションシステム更新など、事業者のみでは対応できない場合の主体的な支援
- ・バス事業者など関係者と連携した運転手不足への対応
- ・観光を中心に据えたバス運行の充実



名古屋市の栄バスターミナル